

横浜いのちの電話

広報92号

2016.11.1



社会福祉法人 横浜いのちの電話

事務局 〒240-8691 日本郵便保土ヶ谷支店私書箱32号 TEL. 045-333-6163

発行人 古賀 幹章 横浜いのちの電話広報担当 (市村・澤野・十川・永野・堀木・持川)

制作 HK Communication Design

多様性
って
何だろう

現代のキーワードで重要だと言われているものの一つに

多様性 (Diversity) があります

詩人の金子みすずが「みんなちがって みんないい」

と言った多様性です 昔に比べれば

わたしたちの時代は大分生きやすくなったはずなのに

なぜか生きにくさが漂っているように思います

なぜでしょうか？

I am OK. You are OK. の関係というのは理想です

わたしとあなたが全く別人で価値観が違うに関わらず

一緒にいると楽しいというものです

これは価値観が違っているから違いが面白いという関係で

創造的な関係です でも違いが我慢ならず とても

一緒にはやっていられないと感じると ストレスです

障害者などなんの役にもたたないから意味がない

とばかりの殺人事件がありました

わたしたちは簡単に多様性は大事だ、それぞれの個性は

大切にしないとね とひとまずは言います

けれど理解できる人を理解するのはたやすいことですが

理解できない人を前にしたときが 多様性を考える上での

ポイントではないでしょうか 人間が人間をどうみるか

人間観の問題でもあります 日常生活の中で考える

多様性に対する考えを相談員の方々に聞きました



境界線の種類

相談員 M.M
(50代/女)

私の五感が、異質で不快なものと同様だと認識するとその対象物（人）と自分の間に境界線が生まれる。というか線を引きたいという感覚を持つと言った方が近いかもしれない。大概それは、冷たく硬い線。反対に同質で心地良いと認識した物には、温かく柔らかい線が引かれる。お互いを大切に思うがゆえの線というような。厄介なのは前者の線！ほっておくと、その境界線の存在感がどんどん大きくなり、私の心は冷え切り震えてくる。揺るぎない愛情を求め、心がさまよい出そうとする。そうなった時は、今地球の上に生かされていることをしっかり自覚するようにしている。下から私を引っ張り、上からは有毒な光線を遮り、守り続けてくれていることに思いをはせる。そして、何本境界線が引いてあっても、私と相手をぐるぐる〜と囲む大きな大きな〇、円をイメージしておこがましくも地球の気持ちになってみる。ほんの一瞬でも人間であることを忘れる……。私達は、この世で同じ時間の流れの中を生きているもの同士、それぞれの五感で感じ動いている。そう見えてくると、一人一人が持つ感覚、感情が大切なものに思えてくる。何かと比べられるものとは思えない。私が引いた境界線の中の何本かが、少しだけ輝いて見えた。

ほんの少しの 余裕から

相談員 K.I
(60代/女)

多様性を受け入れるってことが難しいのかなと思う。混雑する電車内に、大きな手荷物を持った外国人旅行者の団体が乗り込んできたら、あ〜窮屈！でも言葉も通じないし…と背を向ける。同時に、心も遠ざかる。

以前、電車内放送で、「本日は修学旅行生が同乗しています。皆様！ご協力を。小学生の皆さん！良い旅を」みたいなのがあった。良い旅をしてほしいと私も感じる事ができた。日本人同士だから？大人と子供の違い？それもあるかもしれない。でも、私の心の中に新しいスペースができたような。だから賑やかな(?)小学生と一緒にいられた。そのスペースがもう少し広くなれば、何処へ行くの？と尋ねる余裕も出てくる。

受け入れるってそういうことなのかと思う。

自分たちだけにいるのは、楽で、とても居心地がいい。でも、自分と異なるものを受け入れることは、面倒だし、我慢したり、手間がかかったりする。

忙しい日々、楽！なことばかりつい選んでしまう。それではずっと同じだ。心も閉じ気味になる。少しの余裕を持つと、不思議と気分も開放される気がする。余裕のスペースに違うものを取り込めるからかなと思う。

多様性をめぐって



多様なご意見を



うかがいました



「多様性」ちょっと ずるい言葉

相談員 T.I
(50代/男)

効率化信仰と相まって、自分の価値を主張できないと切り捨てられる不安がある。「多様性」という言葉の裏で、自分が世界でたった一つの花であることの確認のための、際限ない自分探しの旅が始まる。

相模原市の施設で起きた痛ましい殺傷事件で、加害者は「生きる価値がないものを排除する」と主張をした。大多数は「絶対に許容できる考えではない。」と怒りすら感じるだろう。だが、「加害者の考えも多様性では？」と、否定しきれない葛藤にぶち当たり、苦しむ人もいるのではないかな。

「多様性」とは、なんと耳触りの良い言葉だろう。でもちょっとずるい言葉だ。もともと大きな社会問題として考えるべき問題を、個人レベルに丸投げするための便利な言葉のようにも感じる。そして、葛藤が発生すると「認められない(または認めてしまう)自分は悪い」と罪悪感さえ感じるのだ。

今、大切なのは、「多様性」という言葉に囚われるのではなく、自分の存在意義への寛容さと、社会的モラルやルールへの智慧と、それを守ったうえで、相容れない考え方を受け入れるための優しい社会を作る努力ではないか？
こんな考え方も多様性として、認めてもらえるだろうか？

より幸福になるために

相談員 Y.I
(60代/男)

多様性とは何だろう。自然界における多様性は環境の変化に生き残るために、画一的な生物群より多様な生物群が優位な為だそうである。人間の多様性も自然界と同じく、人間が生き残るための戦略であろう。多様性に関しては古代インドでも考察されており、心の多様性の目的は幸福の追求であると断定している。三千年もの前から多様性に関して思索していることに驚かされる。また、多様性を維持するには多様性そのものが必要とのことである。多様性を受け入れることが、人間の幸福の追求に必要なことは言うまでもないことであろう。

しかし、多様性を受け入れることは難しい。私は外国のスタッフと仕事をしているが、心の中に違和感が生まれ、時には倫理観にまで発展し、心がザワついてしまうことがある。なぜだろうか。私は多様性に触れることにより、私の心の環境が変わってしまったためだと思う。このため、私の心は新しい環境に適応すべく蠢いているのではないだろうか。この産みの苦しみのため、心がザワついていっているのだ。そう考えてみると心は落ち着く。相手に無理に合わせる必要はないのだ。この多様性に触れることにより、新しい自分の多様化が始まる。より幸福になるために。

ほどよい距離感が大切

相談員 N.S
(50代/女)

多様性とは、「ひとさま」の生き方や生きざま、考え方、そして存在自体を認めるということかと思う。「みんなちがってみんないい」どんな状況でも心からそう思えるのが理想だ。自分と離れた存在である場合は「そういうこともありだ」と認めることは容易だ。しかし身近にいる人だとそう簡単に認めることができないときがある。それは自分の生活や生き方や価値観にダイレクトに関わってくるからだろうか。でも身近な人であってもそれは「ひとさま」であり「自分」ではない。違って当たり前。だから自分の価値観を押し付けてはならない。

理屈はわかっても、心の奥底でどうしても受け入れがたいことだってある。理屈や理想と感情や感覚は伴わないことも多いからだ。でもその感覚はときとして生きていくのに大切なものだと思う。だからその感覚も大切に、どうしても受け入れがたいなら、その相手とは距離を置くしかないと思う。気持ちの上だけでも距離を置いてみる。そうすれば少しだけ余裕が持て徹底的に拒否しなくても済むかもしれない。そして自分を護ることになるのではないだろうか。「ひとさま」と「自分」、ほどよい距離感を持つことが多様性を考える上で大切なことだと私は思う。

耳を傾けることが多様性を育てる

相談員 K.H
(60代/男)

今、仕事場で働き方の多様性が問題になってきているように思う。というのはどの職場も熟練者がいなくなり、人材の補給がうまくいかないからだ。高齢化社会を迎え人口は先細りするし、介護される人は増え続け現状維持さえままならない。そうすると社会に眠っている様々な人材を発掘し、その人達も持っている制約を自由に、働きやすい環境を整備しなければならないだろう。中高年、子供がいる母親、障害のある人など、多様な人材の可能性を見つけなければならない。

我々の社会の生きづらさは、競争原理が根底にあるナンバーワンを目指す生き方があるからだ。それは、いつまでも開発を進め続け、右肩上がりの成長を望もうとして高度経済成長の幻影を追っているのと同じだ。

世界同時不況の中で 必要なのは、オンリーワンの価値に目覚め、どのようにして、それぞれのちからを上手に接続できるかだと思う。人的資源は限られているわけだから、弱者中心の秩序がなければ、誰にとっても生きやすくなるはずではない。今必要なのは、働きやすさを求めている全ての人の声に、耳を傾けることではないだろうか。

イライラからワクワクへ

相談員 S.A
(50代/女)

自分と全く同じ人は、世界中に、きっとひとりもないのだから、なぜ今更「多様性」が取りざたされるのか不思議で、なぜかイライラしています！

他者を理解できないのは当たり前。自分も理解されなくて当たり前。たまたま共感できる部分や、わかり合えたと感じる何かがあったとき、私たちは喜んだり、驚いたり、黙ってうなずいたりするものなのではないでしょうか。

けれど、こんな風に言っているが、日常的には、多様性の軽視も甚だしく、「日本人は〇〇が好きだ」とか、「高齢者は××が苦手だ」とか、「障害者は□□を望んでいる」などと、平気で人々を十把一絡げにして考えている自分がいて、その自分自身にもいらだちを覚えます。

本当は、あなたと私が自然な流れの中で出会って、次の瞬間からどんな関係性に進んでいくのか、進んでいかないのか…、そういう未来の多様な可能性こそが私をワクワクさせてくれるのです。そして、そのワクワク感を頼りに、たとえすれ違いや思い違いの危険があったとしても、私はまた誰かの心に近付いてみたくなるのです。



インフォメーション



[日誌 2016.05~2016.10]

2016年

■5月

- 7日(土) 相談員委員会
- 9日(月) 内部監査/事務局会議
- 10日(火) 自殺予防フリーダイヤル
- 13日(金) 運営調整会議(第4回)
- 20日(金) 理事会・評議員会(2016年度第1回)
- 20日(金) ~ 23日(月) 相談員養成宿泊研修
- 24日(火) 相談関連部会/研修担当者会
- 27日(金) ~ 28日(土) 連盟総会/理事長・事務局長会議(岡山)

■6月

- 2日(木) スーパーバイザー懇談会
- 4日(土) 相談員委員会
- 7日(火) かながわ自殺対策会議
- 10日(金) よこはま自殺対策ネットワーク協議会
- 10日(金) 自殺予防フリーダイヤル
- 13日(月) 事務局会議
- 22日(水) 神奈川県被害者支援連絡協議会
- 23日(木) 広報拡大アイデア会議
- 28日(火) 相談関連部会/研修担当者会

■7月

- 2日(土) 相談員委員会/全体研修会
- 8日(金) 事務局会議
- 10日(日) 自殺予防フリーダイヤル
- 19日(火) 神奈川県保健福祉局で来所
- 21日(木) 広報拡大アイデア会議
- 25日(月) よこはま自殺対策ネットワーク協議会
- 29日(金) 横浜市健康福祉局で来所

■8月

- 1日(月) 事務局会議
- 2日(火) 横浜市こころの電話相談連絡会
- 8日(月) 相談関連部会
- 10日(水) 自殺予防フリーダイヤル
- 18日(木) 社会福祉法人制度改革説明会
- 30日(火) 心理専門相談運営委員会

■9月

- 1日(木) 運営調整会議(第5回)
- 1日(木) パースデーライン
- 2日(金) 関東甲信越ブロック会議(埼玉)
- 3日(土) 相談員委員会
- 6日(火) 広報会議
- 9日(金) 自殺予防街頭キャンペーン
- 10日(土) 自殺予防フリーダイヤル
- 15日(木) 事務局会議
- 15日(木) ~ 17日(土) いのちの電話相談員全国研修会(なら大会)
- 22日(木) 研修担当者会
- 27日(火) 相談関連部会
- 28日(水) 広報拡大アイデア会議

■10月

- 1日(土) 相談員委員会
- 3日(月) 事務局会議
- 10日(月) 自殺予防フリーダイヤル
- 24日(月) 広報拡大アイデア会議
- 25日(火) 相談関連部会
- 28日(金) 秋の催し(コンサート)
- 29日(土) ワンコイン勉強会

編集後記

今回のテーマを決めるとき、どんな投稿が集まるか不安でもあり、楽しみでもあった。結構面白いものが出来たと感じているがいかがだろうか。時には、多様性について意識的に考え、自分の凝り固まった意識を自覚し、理解しあえる関係について見直してみよう。そして、相談員としての受け入れ幅を広げていきたい。(た)

2017年度 電話相談ボランティア募集

あなたも相談員になりませんか

相談員は交替で相談者の悩みや訴えを聴いています。ひとりひとりの「いのち」を大切に思いながら・・・あなたも「いのちの電話」の活動に参加し、ともに学び、自分や電話をかけてくださる方々の人生に向き合いながら、良き聴き手としてボランティアをはじめませんか。

応募資格：23歳から70歳未満まで

(2017年3月31日現在)

応募期間：2016年12月1日(木) ~ 2017年2月10日(金)
*当日消印有効

募集人数：40名

研修期間：2017年4月 ~ 2018年3月
講義・グループ体験学習・電話インターン研修

研修受講料：前期 I 30,000円
前期 II 20,000円
後期 20,000円で各期ごとに納入していただきます。

申込金：応募書類提出時に2,000円納入していただきます。

応募方法：92円切手を同封の上、「募集要項」をご請求ください。ホームページでも入手できます。
<http://www.yind.jp/>

〒240-8691
横浜市保土ヶ谷郵便局私書箱32号
社会福祉法人 横浜いのちの電話
問合せ先 事務局 045-333-6163



毎月10日は **フリーダイヤル**

なやみ ところ
0120-783-556

毎月10日 8:00 ~ 翌日 8:00

24時間・無料です

あなたがつらいとき、近くにいます。ひとりで悩まないで、こころの苦しみを話して下さい。

自殺予防 いのちの電話です

神奈川県共同募金会からの **配分金**



2016年度は電話設備に充当する予定です。

横浜いのちの電話 **お知らせ**

春の映画会

ブルックリン

愛が見えない街で、私は未来を探していた



アイルランドからアメリカへー洗練されたニュー Yorker に変わっていく彼女の選択が、大切な答えを教えてくれる。

ジョン・クローリー監督

●日時 **2017年3月8日(水)**

●会場 **戸塚区民文化センター**

さくらプラザホール

JR・市営地下鉄「戸塚」駅西口下車 戸塚区総合庁舎内4階

1回目 開映 11:00 (開場 10:30)

2回目 開映 14:30 (開場 14:00)

3回目 開映 18:30 (開場 18:00)

前売券 1,000円 当日券 1,200円

全席自由 発売開始 11月30日

いのちの電話支援会手作り品

バザー同時開催!

●お問い合わせ

横浜いのちの電話事務局

TEL. 045-333-6163

FAX. 045-332-5683



ひとりぼっちで悩まずに...

だれかと話したいとき ころ寂しいとき

横浜いのちの電話相談

045-335-4343 (24時間体制)

外国語電話相談

●ポルトガル語
045-336-2488 0120-66-2488

●スペイン語
045-336-2477 0120-66-2477

相談時間 水 10時~21時
金 19時~21時
土 12時~21時